第５号様式（第７条関係）

会議録

会　議　の　名　称	平成２３年度清須市地域密着型サービス運営委員会
開　催　日　時	平成２３年６月８日（木） 午後２時４５分から午後３時３０分
開　催　場　所	清須市役所清洲庁舎２階２０２会議室
議　　題	①地域密着型サービスの概要について ②スプリンクラー設置補助について
会　議　資　料	清須市介護保険地域密着型サービス運営委員会設置要綱 地域密着型サービスの概要 地域密着型サービス拠点等整備補助金
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍　聴　人　の　数 （公開した場合）	０人
出　席　委　員	丹羽委員、小川委員、恒川委員、普山田委員、山口委員、渡邊委員、森委員、山田委員、山本委員、村瀬委員、太田委員、筒井委員
欠　席　委　員	０人
出 席 者 （ 市 ）	
事　務　局	平野、佐古、寺社下

会　議　の　経　過

１　委員長あいさつ

２　署名委員選任（恒川委員・普山田委員）

３　議事

（１）地域密着型サービスの概要について

資料１をもとに地域密着型サービスの基準に関する考え方、清須市内のグルー

プホーム状況について、資料２でスプリンクラーの設置補助について説明

質疑

○委員長　これからグループホームを建てるにあたりスプリンクラーは消防法で設置が必要になるのか。

○事務局　その通り。

○委員長　市としてこの施設が欲しいというものはあるか。

○事務局　小規模多機能居宅介護が欲しいと思っている。

○委員長　小規模多機能については補助金があればやりやすい施設であるが、市からの補助はあるか。

○事務局　現在はない。

○委員長　これからは大きな施設は維持や運営が大変になってくる。経営で余裕があるものはグループホームだが、なぜ２つしかないのか。

○事務局　第4期の計画作成時グループホームは清須市内に1ヶ所ある。その後、合併により春日町にあったグループホームと併せて2ヶ所になったが、そのころは近隣の市町村のグループホームに40人近くの方をお願いしており、計画値の中で新規のグループホームを建設するほどの余裕はなかった。しかし、その方々も退所されるなど人数が減ってきているので、次回の第5期ではグループホームを2ユニット（18床）増やすように計画に提案していきたいと考えている。

現在の要介護者は約1900人。そのうち認知症の方は400人。内訳として在宅が220人、施設が180人と認知症の人は多い。その他、厚生労働省の出している認知症出現率にあてはめて認知症の人数を出すと約1000人となる。今後益々増加していくと考えられる。

○委員長　グループホームは看護師がいらないため人件費がおさえやすい。認知症の方は夜間の介護が特に大変であるのでそれを支えていかなくてはいけない。最近は若い人でも食生活等の問題もあるのか脳梗塞等の疾患で要介護状態となる人が多い。

○委員　認知症の新しい薬が出てきてはいるが、進行したものについては大きな期待はできない。やはり身近な人が本気で介護しないと認知症の人は落ち

着かない。

○委員長　清須市も、安心して住めるとなれば若い人も増えてくる。

○事務局　グループホームと特別養護老人ホームに、今年1月から介護相談員の派遣を行っている。次年度にはその実績もふまえ会議で報告をしていく予定である。

○委員　グループホームについて相談を受ける時があるが、現在空床はあるのか。また市内の2ヵ所の施設の費用の格差が大きいがどのくらいなのか。

○事務局　現在2人分の空床がある。料金につては、グループホームきよすは家賃57,000円、諸費用30,000円、食費36,000円でグループホームペガサス春日は家賃8,500円、諸費用18,000円、食費30,000円である。

○委員長　グループホームペガサス春日については専任1名・兼2名で夜勤はどのように行っているのか。

○事務局　特別養護老人ホームと併設をしているので、連携を実施している。

○委員長　法律上問題はないのか。

○事務局　指定基準の範囲内で実施している。

○委員長　以前グループホームで火災が起こった事件をうけて、今後建てる施設については平屋建てを推奨しているが、清須市としてはどうするのか。

○事務局　次回はその点についても考慮していきたい。

署名委員

署名　恒　川　　武　久

署名　普　山　田　　寛

会　議　の　結　果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部　高齢福祉課 ０５２－４００－２９１１　内線４３３４